

第35回 RIDCマンスリー研究セミナー

貝類相の変遷が反映する岡山県の歴史と風土

スピーカー

岡山大学環境生命科学学域 准教授

福田 宏

日時

2024年6月26日(水)
12:00~13:00

場所

オンライン開催



貝類の多くは移動・分散能力に乏しく、棲息場所との結びつきが強いことから、他のどの動物の分類群と比べても環境条件の変化の影響を受けやすい。このため貝類は環境指標生物として選んでおり、特定の地域の貝類相を調査すれば、その地の現状のみならず歴史的経緯の概要をも把握できることが多い。一方、岡山県では長年わたって大規模な森林伐採や干田などの人為的環境変化がなされてきた結果、貝類の絶滅率(絶滅種: 本来棲息していた種の数)は47都道府県中で最も高く、2位の東京都の7倍以上に達する。この点で岡山県は、日本で生じた環境破壊の縮図とみなしうる重要な地域でもある。また、貝類相の歴史の変遷の検証には過去の産出の記録(標本や文献記録)が不可欠であるため、それらの重要性についても触れる。

お申し込み先 <https://forms.gle/3Loq88nXLsGwWv8A>

お申し込み締め切り 6月25日 12:00

お問い合わせ先 文明動態学研究所 rid@okayama-u.ac.jp



*オンライン開催のため、ご参加希望の方は事前申し込みをお願いします。申し込み、参加料は無料となります。
